

平成 20 年度当初予算 施策別概要

5 3 3 東紀州地域の振興

(主担当部：政策部東紀州対策局)

- 53301 持続可能な自立した地域の基盤づくりの推進
(政策部東紀州対策局)
- 53302 地域の宝に気づき、守り、生かす集客交流の推進
(政策部東紀州対策局)
- 53303 地域資源を生かし、地域の底力を高める産業振興の推進
(政策部東紀州対策局)

< 施策の目的 >

(対象) 東紀州地域が

(意図) 地域の自然や歴史とともに生きる暮らしを大切にしながら、地域経済を活性化し地域社会を健全に維持している

< 施策の数値目標 >

施策目標項目(主指標)		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H22 年度
東紀州地域にかかる一人あたりの観光消費額	目標値	-	33,800 円	34,200 円	35,100 円
	実績値	33,434 円			

東紀州地域において観光客が消費する一人あたりの平均利用額 (農水商工部観光局観光 交流室「三重県観光データ 観光客満足度調査事業報告書」)

県の取組目標項目(副指標)		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H22 年度
東紀州地域への観光入込客数	目標値	-	145 万人	147 万人	150 万人
	実績値	143 万人			

< 進捗状況(現状と課題) >

- ・ 県と市町で構成する「東紀州観光まちづくり公社」では、東紀州独自の隠れた魅力の発掘や地域資源の磨き上げによる着地型の観光商品づくりを行うとともに、地域の観光関係事業者向けのセミナー等を開催するなど、「もてなし」の向上等、質の高い受入体制の構築を行っています。産業振興については、個々の事業者の実情に応じた支援を行うため、商品開発・販路開拓等の個別相談を行い、国・県の産業支援施策の情報提供をするとともに、事業者レベルアップのためのセミナーを開催しています。また、大都市圏での地域産品 P R や紀勢道整備に伴う広域的な地域活性化に取り組んでいます。

今後は、国・県・市町・商工観光団体等の関係機関とも連携しながら、地域の宝を活かした滞在型、体験型の広域観光を推進するとともに基幹産業である一次産業を生かしながら、それらの地域資源を高付加価値化し、地域ブランドの確立や流通販売への展開につなげることにより、地域産業を活性化する取組を推進する必要があります。

- ・ 世界遺産「熊野古道伊勢路」を首都圏の方々に広く周知し、熊野古道訪問のきっかけとするために、カルチャーセンター等とタイアップして文化講座を開催したり、モニターツアーを実施しています。これら参加者の外部評価により、熊野古道ツアーの内容を磨いていく必要があります。

また、多くの人々が伊勢と熊野の2つの聖地を結ぶ熊野古道伊勢路を、安心して楽しんで歩くことができる環境づくりを進めていくため、ウォークイベントなどを通して地域のホスピタリティの向上に取り組むとともに、鉄道や熊野古道シャトルバス、路線バスを利用した熊野古道ウォークのモデルプランの提示などを行っています。今後は、伊勢路を通した道しるべやモデルプランの活用など、さらに来訪者の利便性の向上を図っていくことが必要です。

- ・ 熊野古道センターは、講演会や企画展および体験学習など積極的な取組により、来館者数が目標を大幅に上回る状況ですが、さらに、内容の充実をはかるとともに市町や企業等と連携し集客交流拠点としての機能を高めていくことが必要です。
- ・ 紀南中核的交流施設は、補助事業者において施設整備が着実に進められており、施設オープンに向け事業者と地域とが連携しながら取り組んでいく必要があります。
- ・ 今年度導入されたかんきつの高品質選果システムの評価と検証を行いながら優良品種の導入等を進めるとともに、農道やかんがい施設などの生産基盤整備を進めます。また、新規就農希望者へのサポート体制の充実等をはかり、確実に就農へつなげていくことが必要です。

<平成20年度の取組方向>

「東紀州観光まちづくり公社」に対し市町と連携しながら支援することにより、東紀州地域の活性化事業を推進します。

世界遺産熊野古道の保全と活用のため、伊勢から熊野までの「熊野古道伊勢路」全体を通じた共通サインの整備などを進めます。また、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の活用について、三県が連携して、熊野古道リーフレットの作成、ウォークイベントなどに取り組んでいきます。

熊野古道センターを活用した集客交流の取組や、紀南中核的交流施設整備の着実な促進とともに、地域との連携をはかっていきます。

果樹産地の活性化のため優良品種の導入等を進めるとともに、新規就農者に対するサポート体制の充実などに取り組みます。

<主な事業>

(重)東紀州観光まちづくり推進事業

【基本事業：53301 持続可能な自立した地域の基盤づくりの推進】

(第2款 総務費 第7項 地域振興費 1地域振興費)

予算額： 22,176千円 22,126千円

事業概要： 東紀州地域が一体となって観光振興、産業振興およびまちづくりを総合的に推進していく「東紀州観光まちづくり公社」に対し、市町と連携しながら支援することにより、東紀州地域の活性化を推進します。(東紀州観光まちづくり公社に対する負担金等)

(舞)熊野古道伊勢路を結ぶしくみづくり事業

【基本事業：53302 地域の宝に気づき、守り、生かす集客交流の推進】

(第2款 総務費 第7項 地域振興費 1地域振興費)

予算額： 6,961千円 6,463千円

事業概要： 伊勢と熊野の2つの聖地を結ぶ「熊野古道伊勢路」を多くの人々が安全に安心して歩くことができるよう、連続した道しるべの整備を進め、人や文化の交流を活用した地域づくりを支援します。(サイン計画およびサイン整備)

(重)熊野古道センター運営事業

【基本事業：53302 地域の宝に気づき、守り、生かす集客交流の推進】

(第2款 総務費 第7項 地域振興費 1地域振興費)

予算額： 65,085千円 63,777千円

事業概要： 熊野古道の魅力为全国に情報発信するとともに、地域内外の人びととの交流を促進するための拠点施設を目指し、熊野古道とその周辺地域の情報の収集・集積、交流、情報発信等に係るさまざまな取組を多様な主体との連携をはかりながら行います。(講演会、企画展、体験学習、交流イベントなど58回開催予定)

(重)中核的交流施設整備事業

【基本事業：53302 地域の宝に気づき、守り、生かす集客交流の推進】

(第2款 総務費 第7項 地域振興費 1地域振興費)

予算額： 102,030千円 134,254千円

事業概要： 紀南地域の振興をはかるため、集客交流の推進に向け、補助事業者による中核的交流施設の整備に対し支援します。(補助金の交付等)

(重)紀南版元気なみかんの里創生事業

【基本事業：53303 地域資源を生かし、地域の底力を高める産業振興の推進】(農水商工部)

(第6款 農林水産業費 第1項 農業費 5農林漁業担い手対策費)

予算額： 6,500千円 6,045千円

事業概要： 東紀州地域の重要な産品であるかんきつについて、その需要に応じた品質の果実を供給し、果樹産地の基盤を強化するとともに、担い手確保や地域の人、資源を活かした産業観光の推進に支援することにより紀南地域の産業全体の活性化を促進します。(新規就農希望者の就農研修講座5回および新商品づくり研修3回開催予定)